

大祭は、旧暦2月の初午祭、10月
体育の日の秋季大祭。月例祭は毎月
1日・15日・22日です。

毎日たくさんの参拝者で賑わって
おり、とくに月末から1日にかけては
一晩中お参りする人が絶えません。



「商売繁盛」
参道では縁起物のまねき猫が
お出むかえ



温故集成館

人間国宝・加藤卓男、
高須藩主・松平義建、川
合玉堂の掛け軸や絵画
のほか、日本、中国、朝
鮮、タイ、安南の古陶磁器や抹茶茶碗などの美術品を年
に3～4回替えて展示しています。

- 開館 日／月・金を除く毎日、毎月の1日、祝日
- 開館時間／AM9:30～PM4:30
- 入館料／無料
- 問い合わせ／温故集成館…………… ☎ (0584) 66-4341



稲荷の「なり」とは、ものや生命を
生み出す力のことで、農業や商売繁
盛の基となります。

油揚げをお供えするのは、揚げ物
には蛋白質と脂肪が含まれていて体
に良いから、また、油揚げが狐の毛色
に似ているからなど諸説あります。

油揚げと
ロウソクをお供え



商売繁盛の神様

千代保稲荷神社「おちよぼさん」

「おちよぼさん」の愛称で親
しまれている千代保稲荷神社は、
年間約二百万人の参拝者で賑わ
っています。

境内の入り口付近にある商店
でお供え物の油揚げとろうそく
が売られています。参拝者はこ
の油揚げをお供えし、商売繁盛
などの願い事をします。

「千代保稲荷神社」(ちよほい
なりじんじや)が正式な呼び名
で、大祖大神(おおみおやのお
おかみ)、稲荷大神(いなりおお
かみ)、祖神(みおやのかみ)が
祀られています。この神社は八
幡太郎義家の六男義隆が分家す
る際、祖先の霊璽、宝剣、義家
の肖像などを「千代代々に保つ
ていけ」と賜ったのが始まりで、
社名も「千代に保て」に由来し
ます。そのため、御札・御守な
どは授与していません。

源氏が滅んだ後の文明年間
(今から五百五十年ほど前)に、
森八海がこの須脇の里を開き、
義家公から授けられた源氏の霊
璽を祀ったのが始まりといわれ、
森八海を開祖として、現在で二
十一代目になります。



祈願石

願い事の成否を占う石です。

やり方は、まず一度何も考えずに石を持ち上げます。そして
次は、重くあがってほしいか、軽く上がってほしいかを決めて、
願い事を念じて持ち上げます。

決めたとおりに感じられたら、願い事が叶うかもしれません。